

————— 主な内容 —————

- みんなで取り組む課題 2
- 京都府知事選挙にあたって 3
- かじかわ府政の実現を 4
- 府民のつどい報告 5
- 川柳・まちがいさがし 6
- 春の女性部宣伝行動 7
- 京都の催事案内 8
- 行楽（醍醐寺から随心院） 9
- 編集後記、まちがいさがしこたえ 10

発行所

全日本建設交運一般労働組合（建交労）
京都 事業団・高齢者部会

〒601-8103

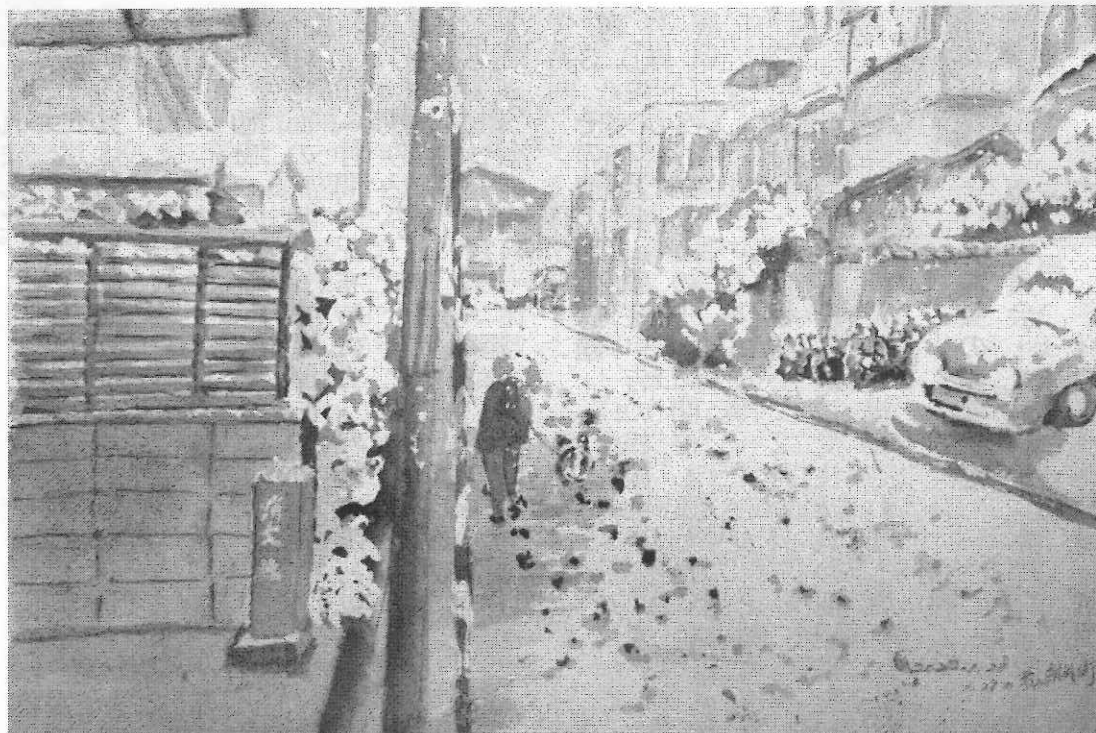
京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地

Tel 075-691-1007 Fax 671-1641

Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp

発行日 毎月15日 一部30円

No.312 (2022年) 3月号



雪の朝

上林常哲

本誌発行委員会が承認された、併手にて本誌

5000部発行

の

か呼た科部

みんなでき取り組む課題

第4回支部執行委員会を2月16日に行い、のべ12人参加し、以下のとおり報告され、討議の上、取り決めました。

1 「新春旗びらき」の振り返り

①開催の状況

○1月19日（水曜）午後2時30分より開催。新型コロナウイルス感染症第6波の拡大途上にある中の開催となりました。

○のべ29人参加。目標40人に対し、73%の参加率。

②開催内容

○梶川総評議長の府政学習会と、洛北青年合唱団のうたごえ。執行委員会では、特に意見等なし。
▼旗びらきの様子は、前号『仲間』をご覧ください。

2 京都府知事選挙の取り組み

①推薦決議

○現・京都総評議長の梶川憲さんが、2月10日に立候補表明されました。

○梶川憲さんを京都府知事候補としての推薦につ

いて、執行委員会で承認を求め、拍手で了承されました。

②「つなぐ京都2022@建交労京都支部」の発足

○具体的な取り組みは「会」を結成して活動母体とし、幅広く参加を募ることにしました。

○「つなぐ京都2022南区連絡会」に参加して、地域への選挙宣伝を行います。

③当面の京都府知事選挙の取り組み

○『仲間』配布時にカンパ袋と支持拡大カードの挟み込み、組合員に協力をお願いする。

○『仲間』に、選挙宣伝記事の掲載。

○組合員向けに「選挙はがき」の郵送。

3 その他の活動課題

①税の学習会（確定申告の相談会）。

○2月18日（金）の午後に開催しました。

▼○ページの記事をご覧ください。

②宇治分会・労使協議会（2月28日）

○駐輪場管理業務の継続受注請負の要望書を2月24日に宇治市長あて提出されました。

4 次回執行委員会の開催予定

第5回執行委員会・3月16日（水）午後2時。

組合員の皆さんへ 府知事選挙にあたって

建交労京都支部執行委員長 松永雅明

3月24日告示、4月10日投票でたたかわれる京都府知事選挙に、京都総評議長の梶川憲さんが立候補を表明されました。組合は、梶川氏の府政政策・重点プラン、

①公共の力で、いのちを守り育む。

②時給1500円以上と、安定雇用、地域経済を潤す。

③原発は止めて、なくす。

④環境破壊をやめて、持続可能な京都をつくる。

を討議して、2月16日の執行委員会、梶川憲氏の推薦決定を行いました。

梶川憲さんは、春闘決起集会、3月のバイバイ原発、5月の統一メーデー、6月の原水爆禁止世界大会めざす平和行進、7月の最賃ひきあげ京都労働局請願行動、11

月の憲法集会など、私たち組合が取り組む企画に、京都総評議長として、また市民活動家として、いつもたたかいの先頭に立ってこられました。共にたたかう「仲間」です。

現知事の西脇隆俊氏は、コロナ感染症対策でも経済対策でも府民の声に向き合わず、いつも国まちな国という通りばかりです。京都はこうしよう！というリーダーの役が果たせていません。

4月10日の知事選挙、府政が変われば京都は変わります。くらしも変わります。2兆1千億円かかる北陸新幹線延伸計画はやめて、コロナ不況にあえぐ中小企業、私たち府民の暮らしを応援する府政に切り替えましょう。

「仲間」の原稿を募集しています

本誌『仲間』は、組合の取り組みの方向や歴史をお伝えするだけでなく、普段、顔を合わせない組合員の間での、コミュニケーションの活性化につながる情報誌でありたいと思っています。組合員の皆さんの積極的な投稿をお願いします。

- 《テーマ》
1. それぞれの職場の様子や仕事の内容
 2. おすすめの健康対策や、闘病の思い出
 3. 趣味や特技、愛読書、旅行や食事の話題、などなど



かじかわ憲さん (3・5府民のつどいにて)

京都のたたかう労働組合の代表 かじかわ憲京都総評議長長を京都府知事へ

私たちにとっては、1月の「新春旗びらき」で講演していただいた京都総評議長のかじかわ憲さんが、来る京都府知事選挙に当たって立候補の決意を表明されました。京都総評の傘下にある建交労京都

支部として、働く人々の生活改善と京都経済の再生、平和を守る観点から、かじかわ憲さんの立候補を歓迎し、2月16日の執行委員会で、かじかわ憲さんの「府民とともに」人も環境もかがやく京都へ”に賛同・支持することを決定しました。

支部執行委員会は、かじかわ知事実現へ向けて、仲間の皆さんにかじかわ憲さんへの支援をよびかけます。

いまこそ京都府政の転換を

新型コロナウイルス感染症の流行が終息しない状況で、まさに知事が府民の命をどう守るのか、その本気度が問われています。保健所の統廃合をすすめてきた京都府政から、

命に寄り添い、保健所を元に戻すことを約束している、かじかわさんで、府民の命が守れる道に、京都府政を転換しましょう。

また京都府は、コロナ禍で大変な時に、北陸新幹線を国と一緒になつてつくり、府立植物園周辺の再開発を進めようとしています。お金を命や暮らしを支える使い方に変えさせる、その意志を持った人を知事に押し上げましょう。

労働者の代表の知事実現を

かじかわ憲さんは、京都教職員組合書記長、京都総評議長として、労働組合・労働者の先頭に立って、働く人々の要求実現のために永年奮闘してこられました。

知事が変われば暮らしは変わります。府民の力で私たちの信頼できる知事、声を命を京都府の行政につないでくれる知事を誕生させましょう。

人も環境も かがやく京都をつくろう

「つなぐ京都2022」府民のつどい



かじかわ憲京都総評議長を知事に押し上げようと、3月5日「かじかわ府政実現！人も環境もかがやく京都へ」府民のつどいが、岡崎のみやこめつせで行われました。かじかわさんを応援する市民運動家や労働

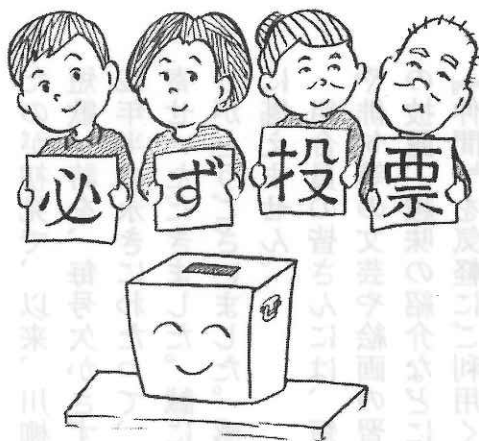
運動の仲間が「かじかわ知事の実現で、命を守る府政を」と訴え、かじかわさんが決意表明し「峠の向こうの春を、みんなでつかみに行こう」と呼びかけました。1千人が会場に集い、府内各地でオンライン視聴も行われました。かじかわさんは、阪神淡路大震災の救援活動での労働者の連帯の

大切さや、コロナ禍でがんばっている自治体職員の姿をふりかえり、何度も声をつまらせ、涙を流しながら語られました。かじかわさんは今日までの経験から京都の隅々まで出掛け、働く人の立場も、その家族の実情も良く知っておられ、府民に寄り添うリーダーが、いま必要と訴えられました。

府民・高齢者が安心して暮らしていけるよう

かじかわ憲さんを知事に押し上げよう！

- 組合員の皆さん。かじかわ憲さんを私たちの知事に押し上げるために、ご協力くださることをお願いします。
- ① 組合員の皆さんが、かじかわ憲への支持を、ご家族・ご友人の皆さんに訴えること。
 - ② 選挙カンパに協力していただくこと。今回の『仲間』にカンパ袋を入れていきます。



「川柳」

京都高齢者福祉事業団OB

池田東一

万華鏡 覗く世界は 恋模様
 我の膝 温めた孫が 嫁に行く
 あの頃の トトト歩きが 目に浮かぶ
 弓道部 心的に 矢を放つ
 一時休止 ファンはやだね 氷川さん
 両手鍋 足で戸を開け 尻で閉め
 皮一重 松の盆栽 生かされて
 振じ曲げた 幹は枯れても 枝は生き
 生と死の 境界線の 枝を見る
 盆梅展 苦しめられて 咲く笑顔
 風雪の テレビに浮かぶ 雪郷里
 胸に立つ 淡雪漕いだ 峠越え
 尾根伝い 雪崩を避けて 隣り村
 野兔が 慌てて雪庇(せっぴ) ジャンプする
 人生路 悲喜交際の 八十年
 三月の 卒業の時期 我も卒
 事業団 十余年間の ペンを置く

池田東一さん「川柳」の
連載終了のお知らせ

毎号楽しんでいただいています「川柳」の作者の池田東一さんよりご連絡をいただき、ご高齢を理由に、今回の投稿をもって終わられる旨、お申し出がありました。

池田さんには、2009年11月号に詩をご投稿いただいた

3月のまちがいさがし

2つの絵で違いが8カ所あります。

(答えは10ページ)



たのが初見で、以来、川柳や短歌、詩を、毎号欠かさず、12年半の永きにわたって、お寄せいただきました。誠にありがとうございました。感謝に堪えません。

組合員の皆さんには、短歌や俳句等の文芸や絵画の習作の披露、趣味の紹介などに、『仲間』を気軽にご利用ください。(『仲間』編集担当)



西から
東から

建交労京都府本部女性部

春の宣伝行動に参加して

京都高齢者福祉事業団 藤原美佐子

3月4日、四条烏丸近辺で「建

交労京都府本部女性部・春の宣伝行動」を行いました。昨年はコロナの影響で中止となったので、今回は決行することにしました。

今回は、昨年秋の女性部定期大

会に初めて参加して、「楽しかったから、また何かあったら声かけ」と言われた方にもお誘いして参加していただき、京都支部から2名、全体

では6名の参加がありました。

お昼休み時間に「一人で悩まないで、ぜひ労働組合に入って、一緒に働きやすい環境にしていきましょう」と書かれたリーフレットを、ティッシュとともに、元氣よく女性の方を対象に配布しました。

この日はお天気に恵まれましたが、まん延防止等重点措置が実施されているせいか、人通りは少なくなりました。リーフレット30部を皆で協力して配布しました。なかには「頑張ってる」と声をかけてくださる方もおられ、少し嬉しい気持ちになりました。コロナ禍の影響もあり、悪条件を強いられている派遣社員の方、パート職員の方も少なくないと思

ひとりで悩まず相談できる場所があるということ、多くの方に知ってもらい、少しでも力になればいいと思います。みなでこれからも頑張りたいと思います。何かの機会にお役になれたら幸いです。

楽しみなのは、行動後のみんなで食べるお昼ご飯です。このご時世なので、みんなで一緒にテーブルを囲むことが出来ませんでした。それぞれが感じたことを報告し合い、また職場や家庭など、毎回話題がつかえません。

参加者に、来る道中に気になるお店があったというので、帰りに皆で寄ってみようとなりました。普段なかなか他の人と接する機会がないと思いますが、このような行動を通じて交流できることも意味のあることだと感じています。年に2回の宣伝行動ですが、これからも地道に続けていきたいと思っています。



京都の催事案内

イベント予定を拾ってみました。
主催者の都合や新型コロナウイルス対策、
天候で、中止の場合があります。

3月19日(土)

岡崎さくら回廊十石舟めぐり

／南禅寺舟溜り(4月10日まで)

3月21日(月)

春分の日。弘法市／東寺

3月24日(木)

男山桜まつり／石清水八幡宮(4月末)

3月25日(金)

京都府知事選挙告示日

3月26日(土)

檸檬忌(梶井基次郎)／丸善京都本店

3月27日(日)

天神市／北野天満宮

3月29日(火)

京都アンティークフェア／パルスプラザ

4月1日(金)

二条駅かいわい土曜マルシェ／BIVI二条

4月2日(土)

上賀茂手づくり市／上賀茂神社

4月2日(土)

パッチワークキルトカーニバル

／みやこめっせ

4月1日(金)

醍醐市／醍醐寺

4月1日(金)

桜まつり／二条城(17日まで)

4月2日(土)

宇治川さくらまつり／宇治公園

4月2日(土)

梅小路公園手づくり市／梅小路公園

4月2日(土)

京都さくらよさこい／岡崎公園ほか

4月3日(日)

小町手づくり市／随心院

4月8日(金)

東寺がらくた市／東寺

4月9日(土)

灌仏会・花まつり／市内各寺

4月9日(土)

平安楽市／岡崎公園

4月10日(日)

二条駅かいわい土曜マルシェ／BIVI二条

4月10日(日)

京都府知事選挙投票日

4月14日(木)

中西祭(献酒祭)／梅宮大社・松尾大社

4月15日(金)

春季例大祭・蹴鞠奉納／白峯神社

4月21日(木)

手づくり市／百万遍知恩寺

4月21日(木)

弘法市／東寺

4月24日(日)

上賀茂手づくり市／上賀茂神社

4月25日(月)

天神市／北野天満宮

4月29日(金)

昭和の日。曲水の宴／城南宮

5月1日(日)

第93回全京都統一メーデー



嵐電 鳴滝一宇多野間

行楽

敬老乗車証を使ったの散策

醍醐寺から随心院へ

建交労京都支部OB 中村 崇

市バスで竹田駅に行き、地下鉄烏丸線と東西線を乗り継いで醍醐駅まで、ほぼ1時間で到着。駅を出て東に20分ほど歩くと醍醐寺です。

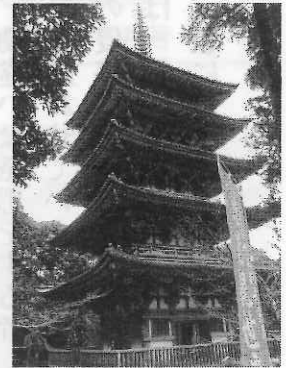
総門を入ると桜馬場という所。左手に三宝院、右手に靈宝館。砂利道を抜けると仁王門です。これは1605年豊臣秀頼の命で建てられ、ここを護る2体の仁王像は1134年に彫られ、重要文化財です。

仁王門をくぐると受付があり、ここから有料とある。拝観料を払って境内に入ると、醍醐寺の本堂である国光・月光両菩薩立像。写真に撮れないのが残念。一礼した後に振り返ると、これも国宝の五重塔。醍醐天皇の菩提を弔うために、朱雀・



醍醐寺金堂

村上両天皇によって951年に完成。高さ38メートルと東寺の五重塔55メートルには負けるが府下最古の木造建造物と紹介されていました。この外にも観音堂や祖師堂、不動堂など多くの堂宇が立ち並んでおり、



醍醐寺五重塔

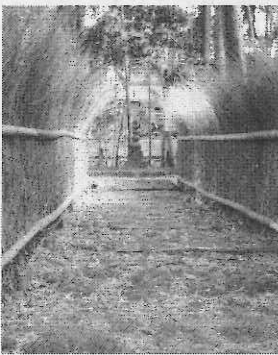
それらを廻った後、総門をくぐって奈良街道に出ました。

北に向かつて歩き、途中の閑静な住宅の一角に「醍醐天皇後山科陵」。休憩兼ねて少し覗きました。西に向かうと外環状線に出る手

前に「随心院」があります。ここは「小野小町」ゆかりの地で、「文塚」「化粧井戸」などの史跡があり、寝殿造の本堂や書院、庫裏などの重要文化財もあり、拝観料を払ってみて廻りました。何よりも、はねずの梅（八重紅梅）、山紅梅、白梅が植えられている「小野梅園」でも有名ですし、「文塚」に行く道すがら歌を刻んだ小さな碑が無数にありました。

醍醐寺は秀吉の桜の花見、ここ随心院は梅。梅は3月半ば、桜は4月で、今回はいずれも時期が早すぎて楽しめなかったのですが、この記事を読まれる頃は、よい時期と思われると思います。ぜひ行ってみて下さい。

今回はここまでで、地下鉄東西線の小野駅に出て、帰路につきました。行程は、交通費は無料。拝観料が1900円、距離は1万6千歩でした。



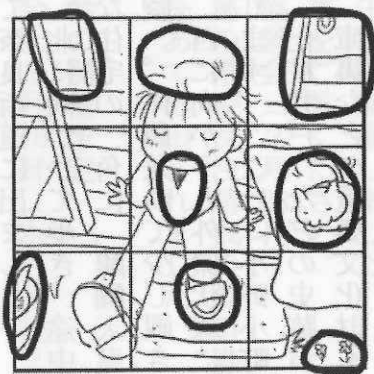
随心院文塚

編 後集 記



2月24日、軍事演習と称して国境に軍隊を集結させていたロシアが、ウクライナへの侵略戦争を開始した。武力行使で国家間紛争の解決を図る行為は、明らかな国連憲章違反、国際法違反であり、断固許せない。▼さらにロシアのプーチン大統領は核兵器の使用をちらつかせ、原子力発電所へ砲撃するなど、狂気の沙汰です。21世紀にもなつて、前時代的な領土的野心むき出しの侵略戦争が勃発するとは。▼国内を見れば、この事態に便乗して憲法九条は「空想的」であるとし、憲法改悪と軍備拡大、核武装を叫ぶ、勘違いな発想をする者がメディアを賑わしています。▼ロシア軍の侵略に対するウクライナの抗戦は、個別的自衛権の行使であつて、仮に日本が侵略を受け

たととしても、ウクライナ同様の抵抗を行うことについて、憲法九条は制限していない。憲法を変えなければ日本を守れない、の根拠は何だろう。▼自民党改憲案にある集団的自衛権行使と海外派兵容認、敵基地攻撃能力は、自国が攻撃されてもいないのに「同盟国の危機だから」という理由で戦争を仕掛けること可能にする。「ウクライナにならない対策」ではなく「日本がロシアになる道」に進む。憲法九条さえ無ければ、他国から侵略を受けなくなるなどというのは、妄想に過ぎないと思う。(や)



まちがいさがしのこたえ